

# 令和5年度当初予算(案)の概要

## ★予算規模

一般会計 3,517 億円(対前年度 139 億円増 +4.1%)  
 全会計 6,759 億円(対前年度 218 億円減 △3.3%)

## ★予算編成のポイント

- (1) 3次総「5大構想」を継承し、進化させた4次総「5大重点政策」の取組に予算を重点配分
- (2) 台風15号や感染症を踏まえた、「危機管理の強化」に資する取組を予算に反映
- (3) 「DX」、「GX」の推進に加え、「人口活力の向上」に資する取組を予算に反映



## 5大重点政策 149.4億円

### 【子どもの育ちと長寿を支えるまちの推進】 33.7億円

- ・政令市初となる第2子以降の保育料の完全無償化
- ・妊娠・出産・子育てにおける伴走型の支援
- ・屋内遊び場施設の整備に向けた課題の調査研究
- ・誰もが活躍できる社会実現に向けた支援体制の調査
- ・かけこまち七賢町を活用した認知症ケアの推進



### 【アートとスポーツがあふれるまちの推進】 13.7億円

- ・春夏秋冬ごとにフェスティバルが楽しめるまちの推進
- ・プラモデルの魅力を活かしたシティブロモーションの推進
- ・プロスポーツチームと連携したまち・ひとづくりの促進
- ・プロスポーツ・コンサートが開催できるアリーナ整備の調査
- ・サッカースタジアムの候補地やまちづくりの課題の調査



### 【港町の海洋文化を磨き上げるまちの推進】 66.3億円

- ・(仮称)静岡市海洋・地球総合ミュージアムの整備
- ・新興津地区のレクリエーション拠点となる海づり公園の整備
- ・清水港への客船の誘致と歓迎イベントによる賑わいの創出
- ・脱炭素先行地域における再エネ設備導入の促進
- ・再エネ電力を活用したグリーン水素の供給設備整備の促進



### 【城下町の歴史文化を守り抜くまちの推進】 13.7億円

- ・大河ドラマ館と歴史博物館による市内外誘客の促進
- ・将棋「名人戦」と囲碁「本因坊戦」のタイトル戦の開催
- ・駿府城公園エリアの夜間観覧の整備(第二弾)
- ・駿河区の玄関口となるJR静岡新南口駅前広場の再整備
- ・JR静岡駅北口地下広場「しずてか」のリニューアルオープン



### 【オクシズの森林文化を育てるまちの推進】 22.0億円

- ・買い物支援、健康相談によるオクシズの生活利便性の向上
- ・「オクシズ」への移住の促進や地域の移住促進事業の支援
- ・エリートツリーによる森林づくりの推進や市産材活用の促進
- ・両河内スマートIC、有東トンネルなどの整備
- ・梅ヶ島新田温泉浴場「黄金の湯」浴室棟のリニューアル



### 危機管理の強化

### DX・GXの推進

### 人口活力の向上

- (1) 防災・減災・国土強靱化
  - ・凹川流域の浸水被害軽減に繋がる雨水貯留施設の整備
  - ・雨水等取水口の強化と新たな水源の検討
  - ・水源地における避難所等での情報収集、発信体制の強化
  - ・浸水対策推進プランに基づく河川改修・治水幹線等の整備
  - ・道路、橋梁、上下水道施設等の維持管理・耐震化対策
- (2) 災害復旧(令和4年度台風15号関連)
  - ・道路、河川、農林道等の災害復旧
- (3) 新型コロナウイルス感染症の感染状況や他の動向に対応する本体制の確立

- (1) DXの推進
  - ・スマートシティの推進
  - ・メタバースを活用した移住の促進
  - ・市立図書館における電子書籍の貸出
- (2) GXの推進
  - ・脱炭素に資する技術開発等の推進
  - ・グリーン電力の地産地消の推進
  - ・道路照明LED化の推進



- (1) 定住人口の増加
  - ・市内でのテレワーク体験の推進やお試し住居の活用による移住の促進
  - ・市内から県外大学等に新幹線通学する学生への通学費の負担
- (2) 交流人口の拡大
  - ・夜間観覧を活かしたナイトツーリズムの推進
  - ・静岡市のお茶を巡る体験の推進
- (3) 閉鎖人口の削減
  - ・地震等として訪川原則による地域の魅力発信
  - ・ふるさと応援寄附金を通じた静岡市のファン拡大



令和4年台風15号

## 被災者支援制度のご案内



被災された市民の方々が受けられる支援の案内や申請、相談を行う「被災者支援窓口」や、支援の内容や申請に必要なものを一覧表にまとめた「被災者支援制度のご案内」をご活用ください。



https://www.city.shizuoka.lg.jp/000\_002/11\_000004.html

## 自由民主党 静岡市議会議員団

# 市政報告

令和5年3月  
2023.03



自由民主党 静岡市議会議員団 〒420-0833 静岡市葵区追手町5-1 自民党市議団控室内 電話/FAX054-252-0543

## ご挨拶

春風の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
 皆さまには、静岡市議会議員としての活動に格別のご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
 旧年中は未だ猛威がおさまらない新型コロナウイルス感染症とともに暮らすwithコロナの一年でありましたが、特に9月23日-24日に本市を襲った台風15号は大きな被害をもたらし、多くの皆さまが不自由な生活を強いられる事態を招きました。被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。  
 一刻も早く笑顔があふれ、安心で安全な静岡市にすべく、一つ一つの施策に全力で取り組んでまいりますので、今後とも引き続きご指導いただければ幸いです。

しらはま  
 静岡市議会議員 白浜 ふみのり

## 常任委員会と特別委員会

市民局、各区役所および環境局ならびに教育委員会の所管に関する事項を取り扱う委員会で、副委員長として各議案を一年間審議してきました。

### 常任委員会 市民環境教育委員会 副委員長

- 市民協働の安全・安心なまちづくり推進
- 台風15号の災害ごみ対応
- カーボンニュートラル実現に向けての事業推進
- グローカル人材の育成
- インクルーシブ教育推進
- 教育環境の整備・充実
- 地域学校協働活動・部活動改革の推進 など



### 特別委員会 デジタル社会推進特別委員会 委員

行政のデジタル化やデジタル技術を活用した市民への情報発信やサービス向上の強化に向けて、市長に提言書を提出。  
 特に、「災害時総合情報サイト」の早期構築を強く要望し、当初予定よりも前倒しで構築する施策につながりました。



# 2つのトピックを元にした 総括質問に立ちました



トピック

## 1 農業プロモーション 静岡市農業振興への取組み

白浜 ぶみのり

### 質問①

本市の農産物が持つ  
特長を生かした商品の  
プロモーションを  
どう行っていくの？



静岡市ブランドの農産物は、  
首都圏を中心に高い評価を得ている!!

### 農業所得の向上のためには、静岡市ブランドの確立と オール静岡によるプロモーションの2本柱が重要!!

答弁① 田辺信宏静岡市長

私も静岡市では、お茶と共に静岡が誇る農産物のPRのために、オグシズやしまでとれた食材を使った商品を提供するイベントを順次開催しています。首都圏でも、折戸ナスや石垣イチゴ、そして長田の株などのPRを実施しており、大変好評を博しました。本市の農業政策は、生産から販売、プロモーションまで、言わば入口から出口まで戦略性を持って、その下支えをしなければなりません。現在、JAが新しい習慣として、マイ水筒やマイボトルにお茶を持って出かける「外茶」を、推進しています。これを先ほどの「しずすか」や様々な拠点で情報発信し、プロモーションをしていきたいと考えています。生産を含めた営農指導等大変実績があるJAと、市行政の情報発信力と連携をすることで、相乗効果を生み出していきたいと考えております。

JAをはじめとする関係機関と連携しながら、静岡市ブランドの農産物が持つ様々な魅力を、静岡市内外の消費者に対して伝えていきます。消費者が、高品質な農産物を安心して購入できるだけでなく、その農産物が持つ特長を伝えるとともに、その希少性や歴史的な背景を知ってもらうことによって、本市の食を代表する農産物のファンになっていただくよう、様々なPRイベントやホームページ等を通じて、情報発信に取り組んでまいります。

### 地域の名前を冠した静岡市が誇る農産物

静岡市には、「お茶」、「ミカン」だけでなく、全国でも早出しの桃として知られる「長田の桃」、そして、「あざはたレンコン」、「倉沢びわ」、「ほんやま自然薯」。全国的にも珍しい栽培方法で知られている「石垣いちご」、静岡市が栽培発祥の地で、その栽培方法が世界農業遺産にも登録されている「静岡水ワサビ」、徳川家康公がよく愛したと言われる「折戸ナス」など、個性的で特長のある農産物があります。



答弁② 農林水産統括監

### 情報を収集しようとする人への受皿となる、 このポータルサイトのさらなる充実と 利活用が必要!!

農産物情報ポータルサイト「ZRATTO!しずおか」のさらなる利活用についてですが、「ZRATTO!しずおか」は本市農産物の旬の時期や魅力を発信し、消費拡大を図ることを目的とする情報発信のポータルサイトとして、平成27年3月から運用しております。消費者が本市農産物の旬を楽しむことができる情報や直売所の情報や農業者等が公開しているホームページのリンクを掲載するなど、幅広く情報発信をしております。当サイトのアクセス数は毎年少しずつ増えているものの、さらに利活用を進める上では、サイトを訪問した人が楽しめる要素を増やすこと、サイト自体の認知度をさらに高めることが必要であると認識しております。

今後は、検索にヒットしやすいキーワードや「ZRATTO!しずおか」のリンク先の追加、イベントでのチラシやポスターによる周知等を進めるとともに、JAや生産農家等と連携した出荷情報やイベントの告知等、情報の幅を広げ、消費者のニーズに沿った魅力あるサイトづくりに努めてまいります。

静岡市が運営する農産物情報ポータルサイト「ZRATTO!しずおか」について「ZRATTO!しずおか(ズラッとしずおか)」は、静岡市特産の農畜水産物を幅広くご紹介し、今おもしろい旬の情報をタイムリーにお伝えするサイト。お茶とミカンはもちろん、わさび、いちご、桜えび、しらすなど、おなじみの味覚のほか、静岡市の豊かな自然が育んだ、数多くの食材、充実した直売所・観光農園情報をお届けしています。

### 質問②

農産物情報ポータルサイト  
「ZRATTO!しずおか」の  
現状と課題、  
今後の展望を教えてください!!



静岡市の旬の食材、ズラッと紹介します。

トピック

## 2 持続可能な社会の創造にむけて 農業におけるSDGsへの取組み

### 質問③

日本の農業における  
脱炭素に向けた環境負荷  
低減の取組を進めるために  
必要な、現在策定中の  
次期、農業振興計画に  
ついて教えてください!!



みどりの食料システム戦略

### 持続可能な食料システムの構築、地球環境問題とSDGsへの対応

答弁③ 農林水産統括監

農業振興における国の戦略を踏まえた今後の取組についてですが、地球温暖化や大規模自然災害の発生、新型コロナウイルスを認識した生産、消費の変化などを受け、国はみどりの食料システム戦略を策定しました。これは、有機農業の拡大や化学農薬・肥料の使用量削減など、脱炭素社会を見据えた農業の推進を目的とし、関係者の意欲的な取組を引き出すとともに、革新的な技術の開発や社会実験に取り組みしていくこととしております。このため、令和5年3月までに策定する、静岡市農業振興計画の中で、生産者の環境負荷低減に対する意識の向上を図るための施策や、環境負荷低減の取組について、消費者に理解を促す施策など、幅広い分野で取組を盛り込んでいきたいと考えております。これら施策の実施により、国の戦略目標である「食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をインベーションで実現」が達成できるよう努めてまいります。

国では、2050年までに段階的な目標を設定した、みどりの食料システム戦略を昨年策定されました。このみどりの食料システム戦略に沿った計画が静岡市にも必要です。

### みどりの食料システム戦略とは

国内農林水産業の生産力強化や持続可能性の向上を目指し、2021年5月に農林水産省が策定した食料生産の方針。農林水産業に伴う温室効果ガスの放出や、化石燃料由来の肥料の使用量を減らすといった環境負荷の低減策が中心となる。

### 地産地消は、農産物の付加価値を向上させ、消費者にも生産者にも よい影響を与えることで、持続可能な農業発展に寄与する

答弁④ 農林水産統括監

消費者である市民と生産者の交流を目的に、JAや農業者団体が開催する直売イベントの開催費への助成や、JAが運営する「しまんり」や「ふれっぴー」の紹介のほか、令和3年度には市内飲食店と連携し、市民が本市特産のワサビを様々な料理として食べる機会を提供するイベントの開催など、地産地消を推進しております。また、6次産業化や販路の拡大など、農業所得や付加価値の向上につながる新しい事業にチャレンジする農業者に対し、ふるさと農力チャレンジ事業による支援も行ってまいりました。これらの取組みは、地産地消による農産物の輸送に係る燃料使用量の削減や、規格外となった農産物を加工し付加価値をつける6次産業化などにより、生産者の所得安定につながることで、SDGsにつながるから、さらに進めることが必要と考えております。

今後につきましては、地産地消や6次産業化がSDGsにつながることをJAや関係団体と再認識し、連携して進めていくことで、SDGsを推進していきたいと考えております。

### 質問④

農産物の地産地消による、  
SDGsの取組みを教えてください!!



### 地産地消による SDGsの効果

- ① 地域の生産者と消費者を結びつけ、食料自給率の向上。
- ② 農産物の直売や農業の6次産業化により、地域農業の活性化。
- ③ 輸送距離が短くなることで、フードマイレージ削減となり、消費者にとっては新鮮で安全・安心な食材を確保できる。
- ④ 生産者が消費者のニーズを捉えやすくなる。



静岡市の  
より良い未来の  
ために!

### 静岡市へ意見・要望を出しました

●農家の皆さまや農業が抱えている課題を解決し、持続可能なものにしていくためには「農業所得の向上」が重要であると私は考えます。静岡市の高品質な農産物を購入できる「場」と「機会」の提供など、農家やJAを中心に、行政も連携した販売戦略が取り組まれています。これらをさらに後押しする行政の、行政にしかできない、市長によるトップセールスをはじめ、「伝える」「売れる」プロモーションを積極的に取り組むことを要望します。

●農業のSDGsについてですが、「みどりの食料システム戦略」に基づく、化学農薬や化学肥料の削減目標実現のためには、減化学農業の推進が求められますが、生産者の大きな負担にもなってきます。行政としても本目標を達成していくために一丸となって消費者への環境負荷を低減した農業への理解促進・普及啓発と、生産者への支援策拡充のご検討をお願いいたします。

●「農は国の基なり」と言われるように、農業は国をはじめ、地域の政治経済の基本であります。そして、農業を「知る」、「触れる」、「食べる」ことは、郷土愛の育成、シビックプライド醸成にも繋がる、行政にとつての根拠をなす、大事な施策だと考えます。行政による力強い後押しは生産者の皆さまの大きな励みにもなり、地産地消にも繋がるため、結果として、農業所得が向上し、魅力ある農業となることから、就農者不足解消にも繋がるはずであります。長期的には食料自給率向上にも繋がります。食料安全保障の観点からも必要不可欠な施策になるものと考えますので、JAとの連携をさらに強化して農業振興への取り組みを強力に推進していただけることを期待しております。

●JA静岡市においてはSDGsにも地産地消にも繋がる、地元で生産されたお茶の消費拡大に向けた「静岡外茶計画」が推進されています。このようなそれぞれの農家やJAの皆さまがいま知恵と経験をフル活用して取り組まれている地産地消や6次産業化への取り組みに幅広いご支援をお願いいたします。